

研究講座

歯内療法の治療について⑤

柏原市開業
杉本 叡

歯内治療に使用する薬品

- 有髄歯 ①感染、象牙質を殺菌する薬品
②感染歯髄を殺菌する薬品

- 無髄歯 ①根管内を殺菌する薬品
②象牙細管内を殺菌する薬品
③歯根外(歯周組織)を殺菌する薬品

このようにいろいろなケースが考えられます。しかし口腔内には多種多様な細菌が存在します。この中で歯内治療においてトラブルの原因になる細菌の多くは偏性嫌気性菌と嫌気性菌です。これを完全に除去、殺菌は不可能ですが、不活性化すれば患者にとって歯内治療での再発はなくなります。

現在使用されている歯内治療薬の主なもの

- ① F. C
- ② C. P
- ③ 水酸化カルシウム
- ④ ヨードホルム
- ⑤ ガッタパーチャ
- ⑥ 根管充填用シーラー

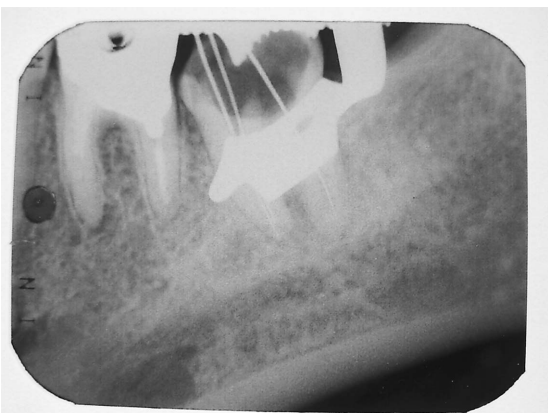
この中で薬害の出現が少ない薬品を使用することが我々歯科医師の質の高さになると考えます。

今までに薬害の出現している薬としては、F. C、C. P、ペリオドン、ヨードホルム、水酸化カルシウム、根管充填用シーラーがあげられます。これらの薬品により全身的な症状がある患者もみられます。

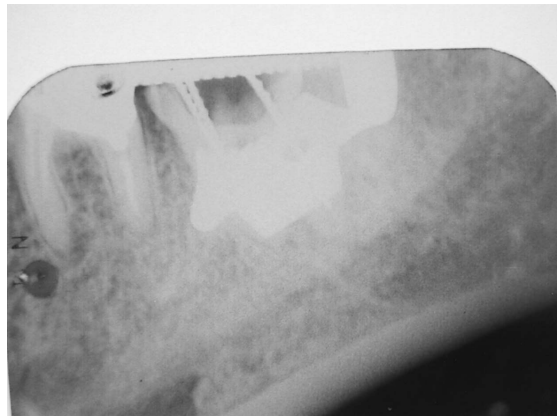
例えばホルマリンによる疾患-アトピー、腰、肩、膝-の関節痛等がありそれ以外の薬品でも症状が出現しています。



初診時X線写真開放状態で来院
髄腔内よりホルマリン臭があり薬品による歯根膜炎がある



根管長測定器による
根管長より0.5短い作業長で15番FileのX線写真



作業長の所の根管径を診断し、それより4~5番太くした根管形成完成時のX線写真ホルマリンの反応なし



ガッタパーチャだけでシーラーを使用しない根管充填のX線写真

根管充填目的

- ① 今までの目的
根尖孔の所を根管充填(シーラーを含む)
- ② 現在の目的
根尖孔、側枝、アクセサリチャンネルのセメント質による閉鎖する様に根管充填を行います。

根管充填法

- ① 糊剤を使用した方法
現在においては製品としてありません。
- ② ラテラル、コンデンセーション法
シーラーだけでは根管内に緊密に充填することができないため、メインガッタパーチャポイントを用い、その隙間にアクセサリポイントを用い緊密に充填すること。
根管壁、根尖孔にはシーラーが存在するため薬理作用があります。
- ③ パーティカル、コンデンセーション法
ガッタパーチャだけまたはレジロンを用い軟化した状態にして根管内に緊密に充填すること。
薬理作用がないために根尖孔、側枝、アクセサリチャンネルがセメント質による閉鎖が生じます。



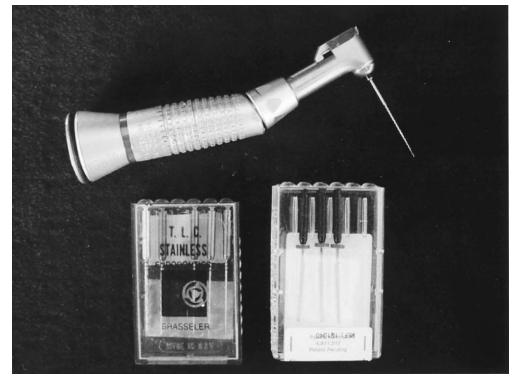
ガッタパーチャ加熱軟化器具



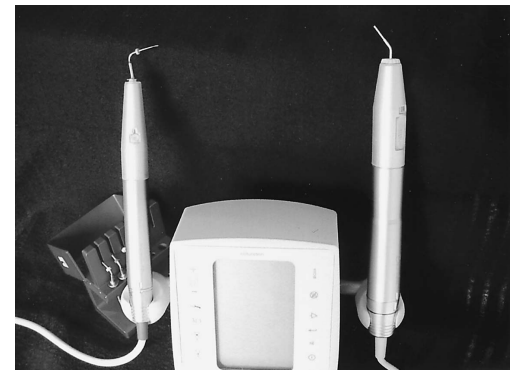
根管充填用器具
普通の根管用のコンデンサーとコントラ 1:1



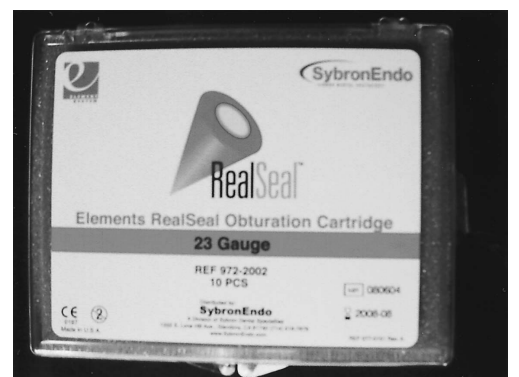
根管充填用器具
根尖が開いている根管用コンデンサーとコントラ 1:1



根管充填用器具
普通の根管用のコンデンサーとコントラ 1:1



根管充填材
レジロンとガッタパーチャを用いた充填器具



根管充填用器具
レジロン(プラスチック)

以上のように、自然科学者である歯科医師が毎日行っている歯内治療の中で科学が解明されています。人間に良くないことや薬品の正しいニュースを取り入れた治療を行いたいものです。

5回にわたり歯内治療の話をしました。診療のヒントとなれば幸いです。

(終わり)